

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2016年12月12日発行 No.25

『マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。』
(新約聖書 ルカによる福音書 第1章 38節)

<大きな喜びと共に2016年度 KIU クリスマス礼拝を挙行!! 皆様の協力に心から感謝!!>

先週の特筆すべき出来事と言えば…やっぱり「神戸国際大学クリスマス礼拝」でしょう!! 特に今年は、経済学部的小林敬一郎先生が全面的にプロデュースされた「光の回廊 祈りの道」が大学構内を美しくライトアップしました。この日に飾られたろうそくの数約 2000 本!!!! 「スマホや PC の画面、蛍光灯や LED とか人工的な明かりに慣れてしまった私たちですが、ろうそくの輝きはまた違った味わいと穏やかさ、そして心の平安を私たちに与えてくれると思い、企画しました。」と語る小林先生は、この日のためにゼミの生徒らやフレンドシップ会員の方々の協力を得ながら準備をして来られました。その力が合わさる事で生まれた幻想的な輝きは、学生や教職員、また礼拝に参加された外部の方々を驚きと喜びに包んでいるようでした。



学生もイキイキした笑顔で準備



遂に準備終了!! 夜はまだかな…



「Universal Road」という副題が



チャペルの中もクリスマスモードに飾りつけられました!! 違いが分かるかな? パッチワークの巨大なツリーが出現!!



構内が美しく輝く中、ついにクリスマス礼拝の開始時刻 17:00 を迎えました!! チャペル内はたくさんの参加者で埋め尽くされています。礼拝をサポートする学生サーバーは、いつもと違う礼拝に緊張の面持ち。全員で歌えるようになった聖歌隊が喜びの表情で赤いガウンに着替えていると、登壇される近藤センター長、下村学長、そして前田理事長もスタンバイ OK!! ついに2016年度 神戸国際大学 クリスマス礼拝が始まりました!!! 詳しい様子は中面に!! =>

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

12月5日(月) 前田 次郎(理事長)

テーマ「イエスの誕生が伝える意味」

この時期になると、清水寺の貫主が漢字一字で今年の世相を表すのが恒例となっているが、数年前、その字が「災」という年があった。洋の東西を問わず、また様々な宗教の中でも、災厄は火、水、風、疫病や飢饉など、神への畏れを失った人の罪を懲らしめる意味を持つ。翻って、今私たちが迎えているクリスマスにはどのような意味があるのだろうか？ マリアの処女懐胎には人間的思考や価値を大きく超えた神の力が示されている。また社会的に無価値なものを愛し抜かれたイエス、その十字架が力を与えてくれる。それを受けた私たちはどのように生きるべきなのか？この時代にどうやって平和を築いていくのか？クリスマスは、それを考える機会としたい。

12月6日(火) この日は、音楽礼拝!! 聖歌隊が
クリスマスの聖歌 82 番「まきびとひつじを」
を奉唱してくれました!! 英国製の新しい
ガウンに身を包んだ聖歌隊!! カッコいい!!



テーマ:「自分の目で世界を見に行こう」

12月7日(水) 石原 正彦(キリスト教センター主務)

自分探しの冒険に出よう」

今年のクリスマスに息子が堅信を受ける。子供の頃に洗礼は受けたが、それっきりあまり教会にも行かず、サッカーばかりしていた息子が、キリスト教を自分の宗教として自覚し歩みたいと言う。その変化はどこから来たのか？と考えると、海外で与えられた「出会い」の影響が大きい。フィジーやオーストラリア等で「人の為、人に尽くす生き方」に触れる中で、息子の中に確かな変化があった。今日の聖句にあったように、種は色々な所に蒔かれる。KIUで学んでいる皆さんは、確実に「良い土地に蒔かれた種」だ。色々な出会いを通して自分探しをして欲しい。

12月8日(木) 樋口 篤志(経済学部)

テーマ:「天皇の退位問題について」

現在、天皇は高齢により退位したいとの意向を示しておられる。これに対して専門家や有識者らが中心となって会議が開かれている。しかし、この議論を見ながら思うのが、「天皇に基本的人権が認められていないのはおかしいのではないか？」という事だ。有識者会議の退位反対派は、天皇の事を偉いと思っているはずなのに、そのご意向を認めないのは矛盾していないだろうか？ 3・11 など様々な災害でも天皇は、積極的に慰問を続け、被災地に喜びと励ましを届けている。そのような重要な存在だからこそ、その人権を大切にすることが求められるのではないだろうか。

12月9日(金) 中原 康貴(チャプレン)

テーマ:「そもそもクリスマスって」

一昨日は大学のクリスマス礼拝がこのチャペルで盛大に祝われた。ただ、チャプレンとしては参加者が「イエス・キリストの誕生を祝う」という思いをもってクリスマスを祝っているだろうかということが気になった。そもそも、皆さんはイエス・キリストを知っているだろうか。聖書を読んでもらうと一番良いのだが、今日は「あしあと」という詩を紹介したい。「ある夜、私は夢を見た。私はイエスと共に海辺を歩いていた。振り返ると海辺にはあしあとが二つ並んでいるが、所々、一つのあしあとしかない。それは私が苦しんでいた時だ。そこでイエスに「なぜ一緒にいてくれなかったのか」と聞いた。イエスは答えた。『私はあなたを見捨てたことはない。あしあとが一つしかないのは、私があなたを背負って歩いていたから。』」〔要約〕このようなイエスの誕生を共に祝い、共に歩いていこう。

(文責:野間 光顕)



チャペル内も幻想的に輝く…



鐘の音が礼拝開始を告げる…



満員のチャペル!! 感謝感激!! 涙!!



中原チャプレンが福音書を朗読



旧約書を朗読される近藤先生



奨励は「Let it be」とクリスマスを繋げて



学生聖歌隊の奉唱



合同聖歌隊が歌声を力強く後押し



礼拝の最後は前田理事長の祝福



「光の回廊 祈りの道」



チャペル前には光輝くツリーも



約 2000 本のロウソクが紡ぐ輝き



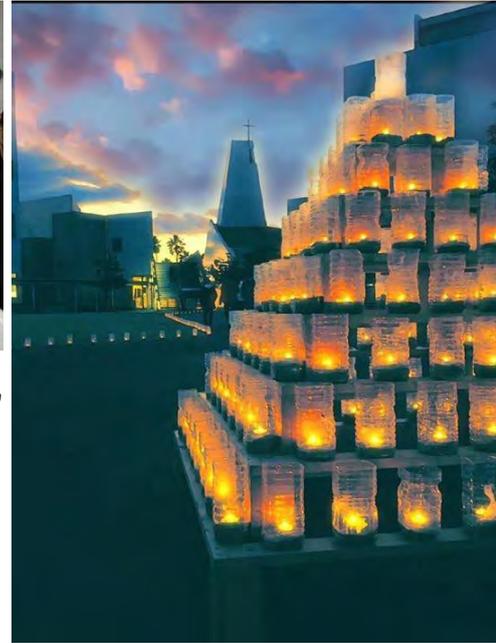
学生表彰の様子



お茶会の盛り上がりは想像以上!!



ケーキバイキングは大人気



夕闇がろうソクを一層
美しく輝かせる

Merry Christmas



礼拝では、学生と教職員が協力し、合同聖歌隊を編成、少ない時間を縫って練習してきた成果を美しい奉唱を通して表現しました!! (新しいガウン も手伝ってフォーマットがグッとUP!?)

また、この日は今年度、クラブ活動等で目覚ましい活躍をした学生を称える学生表彰が行われ、総勢 17 組 (団体・個人含む) に下村学長より賞状が贈られました。ピシッとスーツを着こなし、名前を呼ばれたら「はいっ!!」と大きな声で返事のできる体育会の面々はとても遅しく、また違った雰囲気やチャペルに醸し出していたように思います。この取り組みを、ぜひ次年度以降の活躍や成長に繋げてもらいたいと思います!!おめでとうございます!!

この礼拝には、昨年度を上回る 113 名もの参加者が与えられました!!100 名を目標にしていた私は、活気あるチャペルの様子に、心から感謝すると同時に、意識の低さを反省しました。次年度は更に内容豊かで、皆の心を温かくできるようなクリスマス礼拝を奉げたいと思います。様々な形でご協力頂いた皆様に、深く御礼申し上げます。ありがとうございました!!